

小学生が劇をつくる創作体験ワークショップ

劇のたまごを割ってみよう!



シアターZOOが2016年からスタートさせた劇のたまごシリーズも、5年目を迎えました。これまで「注文の多い料理店」(宮沢賢治)、「ぐりぐりグリム～おかしな森のヘンゼルとグレーテル」「ぐりぐりグリム～シンデレラ」「ぐりぐりグリム～おかしな森の赤ずきん」、「大どろぼうホッツェンプロッツ」(オトフリート・プロイスラー)と、数々の楽しい「げき」を子どもたちに届けてきました。そろそろ、子どもたちに観てもらうだけでなく、自分たちで「げき」を創ってもらうのはどうだろう?子どもたちが私たちから受け取った「たまご」を大切に育てて、最後に割ってみたら?と考えました。沢山の「たまご」からどんな「げき」が生まれるか……

みんなで、童話を読んで台本を書いたり

みんなで、歌ったり・踊ったり・セリフを言ったり

みんなで、小道具や大道具を作ったり

みんなで、一緒に「げき」を創りましょう!



講師：清水友陽(劇団清水企画)

期 間：2020年8月～12月/第2・第4土曜日 13:30～15:30(予定)

※2021年1月 発表会前、冬休み期間中の数日間、舞台での稽古も予定しています。

発表会：2020年1月9日(土)・10日(日) 2回

※「札幌演劇シーズン2020-冬」サテライトプログラムとして発表します

会 場：扇谷記念スタジオ・シアターZOO

講 師：清水友陽(演出家)、磯貝圭子(俳優)、熊木志保(俳優)、櫻井ヒロ(ダンサー)

対象者：小学校2年生～6年生(10名程度)

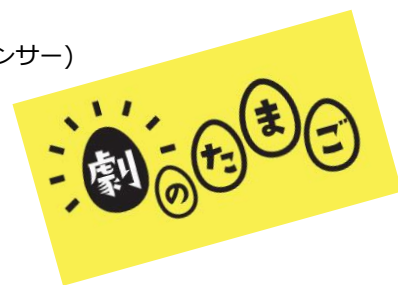
参加費：無料

※ワークショップと発表会に参加できること

※劇のたまごを観たことがあること

※シアターZOOが指定する感染症対策を順守していただくこと

※申し込み人数が多い場合は、参加メンバーを選考させていただき、ご希望に添えない場合もあります



参加ご希望の保護者の方は

お子さまの「お名前」「年齢」「電話番号」「メールアドレス」「特技」「保護者名」を書いて、

写真1枚を必ず添付して、メールでお申し込みください。(郵送不可)

kimura@h-paf.ne.jp (担当者/北海道演劇財団・木村典子)



お問い合わせ：公益財団法人北海道演劇財団

011-520-0710 (担当者・木村 平日 10:00-18:00)

助成：



文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会